

## （1）都市ボランティアの概要

- 都市ボランティア（シティキャスト）は開催都市の顔として、大会時に空港・主要駅等における案内や競技会場周辺における観客案内等を行い、大会を盛り上げる役割を担う。
- 都市ボランティアは、東京都のほか、都外の会場所在自治体においても運営  
人数 約30,000人（都内）  
役割・活動場所 ①空港・主要駅等における案内  
②競技会場周辺における観客案内  
③ライブサイトの運営サポート  
活動日数・時間 オリンピック・パラリンピック両大会を通じ5日以上、1日あたり5時間程度

## （2）基本的考え方

- 都と都市ボランティアそれぞれが、関連する様々な場面において感染予防策を徹底
- ボランティア活動は屋外中心になることを踏まえ、暑さ対策と両立した感染予防策を実施
- 具体的な対策の検討にあたっては組織委員会の大会ボランティアの対策と可能な限り整合を図るとともに、他の会場所在自治体とも連携

## （3）具体的な対策の方向性

### ①研修・活動時における対策例

- ・研修（オンライン研修の活用、教室の換気等）
- ・ボランティアの健康管理（参加者の体調を確認し、体調不良等の場合は活動回避を求める等）

### ②都市ボランティアが実施する対策例

- ・飛沫感染防止（マスク着用、観客等との距離の確保等）  
※暑さ対策として、一定の距離を確保できる場合はマスクを外すことを可とする等
- ・接触感染防止（手指消毒・手洗いの徹底、ハイタッチなど観客との接触を回避等）
- ・活動後の報告（活動後に感染者等と判定された場合は直ちに報告等）

※活動中に感染症の症状を発症した場合の対応は今後検討



- 専門家の知見も踏まえ、感染予防の指針（マニュアル）を今後策定
- ボランティアには4月以降実施する研修等において対策の内容を周知し、大会時に取組を徹底